



老人に働く場所の提供を

(こえ) 日本人の平均寿命も世界有数になり、老齢者社会が呼ばれている現在です。

老人の中にも働く意欲をもつてゐる人は多勢います。この人達に働く場所の提供をしてほいと思います。与える福祉と平行して、いきがいのある老人対策も重要だと感じます。一度検討してみて下さい。

(青島 Tさん)

(こたえ) 働きたい老人がいるの

に、適当な働き場所がない。御指摘のとおりです。

市は、同様な認識にもとづき、現在、高齢者事業団というものの、設立に向って準備を進めております。高齢者事業団というのは、定年退職後の働きたい人達が集まって、企業や市から仕事を受請って、その代金を団員で分けあおうというものです。

ふつうの会社と違う点は、自分の健康がすぐれているとき、都合のよいときに働けばよいということです。

仕事の内容は、働いている間に身につけられた技術を、社会のために発揮していただくために、草取りなどの軽作業だけでなく、いろいろな仕事を事業団で扱うことを見込んでいます。

この構想は、静岡県下では初めてということもあり、種々の困難がともなうことが予想されます。しかし実現のために、市は、一步一步計画を進めております。(市商工課)

表紙のことば

社会教育推進会主催による地区体育祭が、8月26日からはじまり、各地区の子どもからお年寄までが楽しい一日を過しました。

体育祭の種目には、綱引き、障害物競走、タイヤころがし、混合リレーなどがあり、特に採点種目は、選手も応援の人たちも一段と熱が入っていました。

この日におこなわれたのは、伝法、今泉、丘、大渕、岩松、富士第一の6地区で、10月14日までに19地区で行われます。

=記事訂正=

8月25日発行の広報ふじ6号中、農業者年金の納付期限に誤りがありましたので、次のとおり訂正します。
△納付期限 55年12月31日

省資源・省エネルギーチェックポイント集

あなたは毎日こんなムダをしていませんか?

照 明

電灯をつけず暗闇でがまんしたり、現在の半分の明るさの電灯でがまんしたりするのは不便ばかりか、環境や衛生や健康に不適当なことです。ムダなく使う省エネルギーを考えてみましょう。

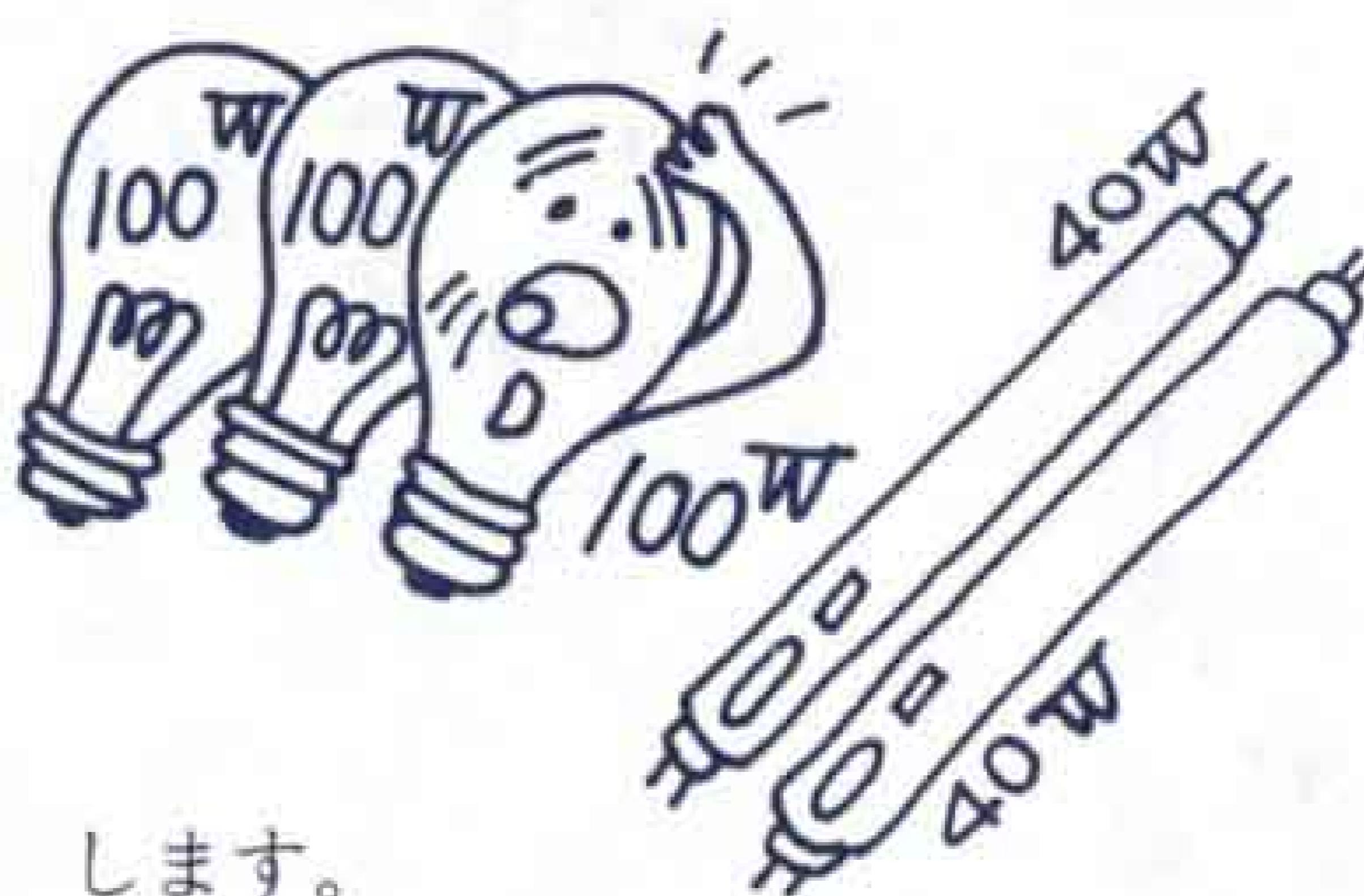
●場所、用途にあった照明

蛍光灯40ワット2灯分の明るさは、白熱灯100ワット3灯分とほぼ同じ明るさです。

1年間の消費量は、蛍光灯では183KWHとなり、白熱灯548KWHの3分の1ですみます。長時間使用する場所などは、蛍光灯を使いましょう。

●ふきそうじをしましょう

照明器具は、ときどきふきそうじをしましょう。ホコリや虫で汚れると明るさが20%から30%低下



します。

失なう電気量は、1年間1軒で60KWH、石油に換算すると牛乳瓶69.9本のムダになります。



●こまめに消しましょう

使わない部屋、流し元の灯など消し忘れることがありますので、こまめに消すことを身につけましょう。